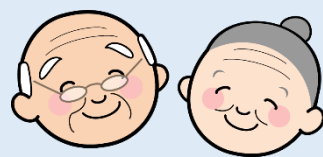


令和4年度第1回初級講習会



報告



令和4年度、第1回初級講習会を、6月3日（金）、4日（土）、8日（水）、6月9日（木）、14日（火）、15日（水）の6日間開催しました。

各先生方から内容の濃いご講義をいただき、充実した講習会になりました。参加者は、講習会を通して、提供会員として活動するための基礎的な知識や技能を身に付けようと熱心に受講されました。

講習会の様子



保育のこころ

松山市保育・幼稚園課

岡田 祐子 先生 野本 智恵 先生

子どもの年齢別の発達度合や、発達に応じた対応方法について詳しくご説明いただきました。また、保育園や幼稚園ではお昼寝時に5～10分おきに子どもの安全をチェックしていることを教えていただき子どもの安全を守るためには万全の体制であらなければならいことも学びました。

子どもの遊び

松山市保育・幼稚園課

岡田 祐子 先生 野本 智恵 先生

子どもの成長に合わせた遊びの紹介や、牛乳パックや新聞紙などの身近にある物で簡単に作れて楽しく遊べるパペットやおもちゃの制作実習等を行いました。他にも子どもがよろこぶ絵描き歌もいくつか教えていただきました。また、今の時代に必要な、感染症予防対策等も学び、とても役立つ講習でした。

子どもの世話

愛媛県立医療技術大学

看護学科 教授 豊田 ゆかり 先生

子どもの呼吸・消化吸収・排泄・体温調節などの生命維持のしくみと、世話をする上でのポイントを分かりやすくご講義いただきました。また、成長における睡眠の大切さと良質な睡眠を取るために、子どもにしてよいことと行けないことも学びました。イヤイヤ期の子どもへの対応方法も教えていただきました。

介護のこころ

今治明德短期大学 講師
介護福祉士 杉本 詠二

高齢者、特に認知症の方への関わり方について、高齢者からの目線でユーモアを交えながらご説明していただきました。高齢者の行う言動を高齢者の立場で理解することができました。また、援助するにあたってトラブルを未然に防止する手法や心構えをも知ることができました。その他、高齢者を敬う姿勢も教えていただきました。

看護の基礎知識

日本赤十字社 愛媛県支部
事業推進課 福祉係長 鵜久森 陽子 先生

心疾患、脳卒中、熱中症などのときの症状と処置の仕方を教えていただきました。また、老化や認知症の予防になるじゃんけんゲームも紹介していただき、皆で楽しくやってみました。子どもの家庭内での事故防止のポイントや誤飲・誤嚥時の対応方法も学ぶことができました。高齢者と子どもの傷病について幅広く勉強でき、実生活でもとても役立つ講習でした。

子どもの心の発達とその問題 I

えひめ子育てサポートラボほっこりん
主宰 玉井 利江 先生

子どもの心の発達段階に応じた対応方法やコミュニケーションの取り方をご講義いただきました。また、子どもと接するには自分自身の心の状態を知ることが大事で、イライラしてもいいと聞いて目からウロコの受講者も多かったと思います。

その他、子どものできている当たり前の行動に注目して認めてほめる手法も教えていただきました。

子どもの心の発達とその問題 II

児童発達支援センターあゆみ学園
児童発達支援管理責任者 今村 高博 先生

特別な配慮が必要な子どもへの対応について、実例に基づいて具体的に教えていただきました。抽象的な表現を避けて、長く・多くの情報を一度に伝えないなどの接するときの注意事項も学びました。多様な子どもの特性をあらかじめよく理解しておくことで、個性に冷静に対応できる知識を学びました。

身体の発育と病気

石丸小児科
院長 中野 省三 先生

子どもの発熱時や、痙攣を起こしたときの対応を医師ならではの観点で教えていただきました。お世話をするときに、あわてず冷静に対処できることと思います。また、今関心の高い感染症についても多くの種類の感染症について教えていただき多くの知識を得ることができました。

子どもの栄養と食生活

株式会社 ヘルシープラネット
管理栄養士 今川 弥生 先生

成長期の子どもの栄養について幅広く教えていただきました。日本人はカルシウム不足であることとその理由が日本の水が軟水であることなども学びました。偏食と好き嫌いは別で、好き嫌いはあってもよいことも知りました。離乳期の食事の介助のポイントや注意点を月齢に応じてわかりやすくご講義いただきました。新陳代謝の説明の中で、成長する子どもと成長しない大人では、必要な栄養の違いがあることなどもわかりやすく教えていただきました。

安全・事故・救命講習

日本赤十字社 愛媛県支部
事業推進課長 平野 昇 先生

心肺停止状態などで、心肺蘇生が必要な傷病者に対する一次救命処置である「胸部圧迫」と「AEDを用いた除細動」のやり方についてご講義いただきました。人形や器具を用いて何度も何度も繰り返して実習しました。受講生からは救命処置の手法を身に付けることができたので、いざという時の心構えができたという声が多くあがりました。他に気道異物除去法も教わり多くの知識を学びました。

事業を円滑に進めるために（修了式）

まつやまファミリー・サポート・センター
アドバイザー

まつやまファミリー・サポート・センターのしくみや、提供会員として、今後の活動がスムーズに始められるよう、心構えや援助の仕方、報酬、事務的な手続き等について説明しました。

その後提供会員としての今後の活動について、アドバイザーと面談しました。

井藤館長の終講挨拶のあと会員証を交付し、参加者は今後の援助活動に対する期待と希望に胸をふくらませていました。



参加者

6日間 11講座 延べ 236人



提供会員資格取得

育児・介護両方	14名
育児のみ	5名
介護のみ	4名

熱心にご受講いただきありがとうございました



Thank you